

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2015年10月18日

報告書名：平成26年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

平成26年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

2015年10月18日

事業名	ヤンゴン及びバゴ地域における読書推進・図書館改善事業 The Reading Promotion and Library Improvement in Yangon and Bago Regions	5 lines
事業対象地	ミャンマー連邦共和国、ヤンゴン地域ヤンゴン市、バゴ地域ピー県	
事業期間	事業期間：2014年7月24日～2015年月7月23日	
公的資金種別	平成26年度 日本NGO連携無償資金協力	
総支出・返還金	総支出：19,958,565円（返還額：488,580円）	
プロジェクト目標および、その達成度	「対象地域における公共図書館の児童サービスが改善される」ことを目的にこの事業を実施した。対象地域における公共図書館ではこれまで読み聞かせ活動や絵本供与といった児童サービスが全く実施されてきていなかったが、こうした状況下で、児童サービスに関する研修会を通じて図書館員及び情報局職員による理解が構築され、その後の実践の中でより理解を深めていったことから、定期的なサービスを実施するまでに至った。その結果、これまで図書館に通うことがなかった児童が図書館を利用するようになり、小学校との連携による読み聞かせプログラムを通じて児童サービスの存在を知る機会となり、図書館を訪問しサービスを利用する児童数が増えていった。	～10 line
実施内容 概要	(ア) 児童サービスの改善及び移動図書館活動 (1) ピー県公共図書館（6館）に児童スペースの設置を行った。 (2) 各公共図書館に、児童図書（国内で購入可能な小説、雑誌、植物や動物といった薄手の図鑑など。また、国内購入他、本事業で出版する絵本、日本からの絵本を含む）の供与を行った。 (3) 図書館員向け児童サービスに関する5日間の研修会を行った。参加者は図書館員（アシスタント含む）8人、郡情報文化局職員7人、ピー小学校教員3名の計18名。研修内容は理論から実践まで15セッション（児童サービスとは、児童向け本の選び方、お話しの世界について、絵本の読み聞かせの仕方など）から構成された。 (4) 図書館合同による四半期及び年次会議を開催した。本会議は、児童スペース設置後からの児童サービスに関する実施状況、成果や課題、今後の対応策などについて各図書館による発表と共に全体による意見交換の場となった。 (5) 図書館運営体制の構築支援を行った。具体的には、情報省の自己資金によりPC研修がSVA対象図書館職員に向け実施され、その後	2/3 page

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2015年10月18日

報告書名：平成26年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

	<p>に各図書館に2台のコンピューター及び1台のプリンターを供与した。</p> <p>図書館にアクセスできない児童やコミュニティのための三輪バイクによる移動図書館活動を行った。本活動のための特別な三輪バイクの完成後、図書館による移動図書館活動が開始、5ヶ月間において53回実施した。</p> <p>(イ) 児童図書の製作</p> <p>質の高い図書を制作するためにカウンターパートであるミャンマー作家協会との共催で、「家族」をテーマに、絵本コンクールを開催した。3タイトルが入選し、当会の自己資金にて絵本出版が行われた。なお、絵本の出版に関する研修が過去、実施されてきていないことから、児童図書作家、イラストレーター、編集者の能力向上のための児童図書出版研修会を実施した。</p> <p>(ウ) 教育図書のビルマ語出版</p> <p>ビルマ語で書かれた教育図書出版が不足していること、英語にて出版されている教育関連図書をビルマ語に翻訳して出版した。当初は、若手の翻訳家を育成する機会提供のためにカウンターパートである情報省出版公社との共催で翻訳コンクールを開催し、審査は同公社の翻訳課職員が行う予定であったが、翻訳対先方業務の都合上、翻訳コンクール開催の調整が困難であるとの申し出があったため、やむを得ず開催の見送りを行った。しかし出版公社翻訳課職員による翻訳作業を実施し、予定通り出版が完成した。</p>	
成果 (3年間)	<p>(1) 公共図書館の児童サービスが改善されている</p> <p>1. 14館の公共図書館にて児童図書の数が増えている</p> <p><u>指標.1年目：対象公共図書館6館各館にて、0冊⇒400冊増加</u> (国内購入250冊、絵本出版6タイトル×10冊、教育図書出版1タイトル×10冊、日本からの絵本8タイトル×10冊)</p> <p>→国内購入の児童向け図書640冊、日本からの絵本85冊、本事業で出版した絵本72冊(24冊×3タイトル)、教育図書出版20冊、合計817冊を供与した。</p> <p>2. 図書館員による児童サービス活動が改善している。</p> <p><u>指標.1年目：5割以上の図書館員が児童サービス活動の実践に必要な知識、技能、態度を有している(過去に研修を受けたことがないため、事業開始前は0割と設定する)。</u></p> <p>→第四四半期会議(年次会合)における児童サービス実施の達成度について図書館員の5割以上が活動実施に必要な知識、技能、態度</p>	～1page

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2015年10月18日

報告書名：平成26年度 日本NGO連携無償資金協力 完了報告書

	<p>を取得していることが見られた。</p> <p>3. 対象地域における図書館活動への子どもの参加率が事業開始前より高まっている。 <u>指標.1年目：0%⇒20%（事業開始前は児童向けの活動がほとんどなく来館者は各館を通じて一日平均10人～15人程度に留まっていることから開始前の参加率を0%と設定している。）</u> →児童サービス実施が皆無であることを前提に、利用者数については対象図書館6館全てにおいて事業開始前比で10%に到達した。</p> <p>4. 児童のライフスキルが改善している <u>指標：知識（言葉（母語）や情報、道徳等）、態度（人の話を聞いたりする意欲、他者や世界について感心を持つ等）、技能（思考力、コミュニケーション能力等）が身に付いている</u> →第四四半期会議（年次会合）において利用児童の変化について図書館員及び情報局職員への聞き取りを行ったところ全ての図書館において「対人コミュニケーションの改善」「図書館への一層の関心」「読書推進の向上」「知識の向上」といった変化が見られたことの見解が出された。</p> <p>5. 図書館員による移動図書館活動が定期的に行われている <u>指標.1年目：5割以上の図書館員が移動図書館プログラムを実施できている</u> →移動図書館活動サービス開始直後はSVA図書館スタッフの参画が必須であったが、回数を重ねていく中で現在は月3回実施のうち2回は図書館員及び情報局職員のみによる実施が行われている。</p> <p>(2) 児童図書作家、イラストレーター、編集者への能力強化が行われる <u>指標.1年目：参加者の5割以上が児童図書出版に必要な技能、知識を有している</u> →専門家の指導の下、研修会期間に全参加者による児童図書ドラフトが完成、能力強化が図れた。</p>	
--	---	--

団体名：シャンティ国際ボランティア会

国名：ミャンマー連邦共和国

日付：2015年10月18日

報告書名：平成26年度 日本 NGO 連携無償資金協力 完了報告書

	<p>(3) ミャンマー翻訳協会との共催で翻訳コンクールを行い、ビルマ語の教育図書が出版される</p> <p><u>指標.1年目：図書館、移動図書館を利用する児童の5割以上が出版された教育図書を利用している</u></p> <p>→出版完了が予定より遅れたため、利用者割合についてはデータが取れていない。</p>	
--	--	--